

「プログラミング」始めませんか！



なぜ、今、プログラミングなのか？

自分のアイデアをどのようにすれば実現できるのか、論理的に考える力、障害を取り除きながら実現できる力を養う手段の一つとして

プログラミングが有効であると考えています。

プログラミングは一人でつくるより、仲間たちと協業で作っていくことが多いため、コミュニケーション力が重要で、時には、意見がぶつかったり、我慢することが必要になります。

このことは、プログラミングにとどまらず、社会で活動するときの普遍的な力を自然と身に付け、同時に養っていくと感じているからです。

帯広会場：道東看護予備校

帯広市大通南 13 丁目 1-3 2 階

1 回 90 分 第 2、第 4

日曜日 13 時半、月曜日 17 時

木野会場：パソコープ木野教室

音更町木野大通東 7 丁目 1-8

1 回 90 分 第 2、第 4

金曜日 17 時、土曜日 10 時

お問い合わせ先：パソコープ木野教室 稲富

0155-31-2110

年会費：6,480 円（税込）

利用料金：10 回 26,460 円（税込）

または 20 回 45,360 円（税込）



ご紹介キャンペーン実施中！

ご紹介者と新規入会者に利用券 1 枚プレゼント！

プログラミングを始めましょう！

1. 想像力を磨こう

若い人たちは、生まれた時から、コンピュータやゲーム、携帯電話に囲まれて育ち、パソコンやスマホ・タブレットなど機器を使いこなしています。

ユーチューブなどで iPad を使っている子供が使い方など教えなくても、使いこなしている姿に驚かされます。

しかしながら、一つ問題があります。その多くは、ただデジタル機器を使っているだけで、創造力を発揮しているわけではありません。ゲームやアニメーションに触れて満足しているだけで、オリジナルの作品を創り出している訳ではありません。これでは本当の意味でデジタルテクノロジーとは言えません。つまり、「読めるけど、書けない」のです。

2. プログラミング教育はこれから大切になってくる

現在、世界中でプログラミング教育の重要性が叫ばれるようになり、小学生を対象にした様々なプロジェクトが動き出しています。最近日本でも TV の情報番組などで取り上げられるようになってきて、プログラミング教育の必要性を提唱しています。

日本では、コンピュータの基本的な仕組みを知り、簡単なプログラムが作成できることが、平成 24 年度から中学生の学習指導要領に取り込まれたばかりで、平成 32 年度(2020 年)からは小学生の学習指導要領に必修項目として盛り込まれましたが、世界の動きから見ると、少し遅れている感はぬぐえません。一歩先を行きませんか！

プログラミングをなぜ学ぶのか

1. 現在、世界はプログラムで構築されています。あらゆる電子機器、サービスの背後に必ずプログラムがあり、その世界が何でできているのか、世の中を動かす仕組みを知ることが大切なのです。
2. 使う側から、創る側になることも可能。インターネットの普及で、パソコン1台あれば、個人のアイデアでも、製品やサービスを生み出せる時代となり、高収入も夢ではありません。
3. プログラミングをとおして、自らのアイデアをどのようにすれば実現できるのか、論理的に考え実行し、していく力が養えます。更に、プログラミングは一人で作るより、仲間たちと協力して作っていくことが多いです。そのためには、コミュニケーション力が重要になり、時には、意見がぶつかったり、我慢することが必要になったりします。このことは、プログラミングにとどまらず、社会で活動するときにも力になるでしょう。

講師 稲富勝彦